

# タマガワホトトギス ユリ科

*Tricyrtis latifolia* Maxim.

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省： -

選定理由 採取圧，局限・孤立，希少性。

生態・形態 プナ帯域の渓谷沿いの湿潤な岩隙や急斜面に生育する多年生草本。茎は斜上，高さ30～100cm。葉は互生して羽状に配列，卵形～広楕円形，急鋭突頭，基部は深心形，茎を抱く，長さ5～10cm。花は7～9月，黄色，紫褐色の細斑点がある，散房花序，葉腋につく。和名は花の色からヤマブキを連想し，ヤマブキの名所京都の玉川にちなむ。ヤマジノホトトギスに類似するが，花序，花の色，葉形などで区別は容易。

分布 北海道，本州，四国，九州。

(県内) 氷ノ山。

保護上の留意点 厳重な採取防止。氷ノ山一帯の渓谷沿いの自然植生の保護。

